

ひろしま木育アカデミー2023 第4回 開催報告

ひろしま木育アカデミー2023 第4回ものづくり編を8月26日（土）に広島大学東広島キャンパス教育学部木材加工実習室にて開催しました。

午前は、はじめに「木育におけるものづくりの意義」について木村からお話ししました。今回は、ものづくりを木育の中で行うことによる教育的な効果として、木材の特徴の実感と知識・技能の習得、問題解決や創造力、協調性などの（非認知）能力の育成に繋がる可能性などについて、私見を含めて解説しました。また、木材の物理的・力学的特性とものづくりの実践事例を紹介した後、木材に関連した最近よく耳にする???な言葉を示し、木育の実践者・担い手には責任を持って正しい知識を伝えて欲しいこととお話ししました。次に、「木材を加工する工具・機器」について木村からお話ししました。最近、DIY で使用されている機器の構造・機能と安全な正しい使用方法、作業を行う際の注意点について解説しました。

午後は、「木のパズルづくりを体験しよう」として、パズルのピースと収納ケースの製作を行いました。はじめに、本作品の製作工程と木材の性質に関する学習内容を実践例と共に解説した後、けがき、切断、部品加工、組立て、仕上げを行いました。製作の各工程では、子どもや不得意な方でも安全に精度良く製作することができるように、型紙や治具などを紹介しながら進めました。そして、完成後に時間内にピースを組み合わる活動を設けました。1回目に元通りに組み合わせることができなかつた方も、今回使用したヒノキ板目材の特徴を伝えることで元通りに組み合わせることができました。最後の「今日の内容を振り返ろう」では、今日行ったこと、今日の活動を通して分かったこと、次にやってみたいことを挙げ、グループ内で共有しました。



4 回目のものでづくり編は、ものづくりを通して木育を考えて欲しいという思いで企画しました。木を使ってものづくりを行うことは木育にとって大切な活動の1つです。ものづくりを通して経験や達成感を得ることに加え、プラスαの学びができるように工夫することでその意義がより高まるのではと考えています。

（文責：木育普及委員会 副代表 木村 彰孝）